



## IP エージング

---

この章で説明する内容は、次のとおりです：

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [GUI を使用した IP エージングポリシーの構成 \(1 ページ\)](#)

## 概要

IP エージング ポリシーは、エンドポイントの未使用の IP アドレスを追跡しエージングが行われます。トラッキングはブリッジドメインに設定されたエンドポイント保持ポリシーを使用して実行され、ローカルエンドポイント エージング間隔の 75% で、ARP 要求 (IPv4) やネイバー要請 (IPv6) を送信します。IP アドレスから応答を受信しなかった場合、その IP アドレスはエージング アウトします。

このドキュメントでは、IP エージング ポリシーを設定する方法について説明します。

## GUI を使用した IP エージングポリシーの構成

このセクションでは、IP エージング ポリシーの有効と無効を切り替える方法について説明します。

### 手順

---

ステップ1 メニューバーから、[システム (System) ] タブをクリックします。

ステップ2 サブメニューで、[システム設定 (System Settings) ] をクリックします。

ステップ3 ナビゲーション ウィンドウで、[エンドポイントの制御 (Endpoint Controls) ] をクリックします。

ステップ4 作業ペインで、[IP エージング (Ip Aging) ] をクリックします。

この [IP エージング ポリシー (IP Aging Policy) ] は、[無効の管理状態 (Administrative State Disabled) ] ボタンが選択されると表示されます。

ステップ5 [管理状態 (Administrative State) ] から次のいずれかのオプションをクリックします：

## ■ GUI を使用した IP エージングポリシーの構成

- [有効 (Enabled) ] : IP エージングを有効にします。
- [無効化 (Disabled) ] : IP エージングを無効にします。

---

### 次のタスク

エンドポイントの IP アドレスをトラッキングするために使用される間隔を指定するには、[テナント (Tenants) ]>[*tenant-name*]>[ポリシー (Policies) ]>[プロトコル (Protocol) ]に移動してエンドポイント保持ポリシーを作成します。次を右クリックします。[エンドポイント保持ポリシー (End Point Retention Policy) ]そしてを次を選択します。[エンドポイント保持ポリシーの作成 (Create End Point Retention Policy) ]。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。